

2026 Observational Log Project: 様式1

				作成日時	2025.12.31 06:15		
				提出日時	2025.12.31 08:18		
				処理日時	2025.12.31 10:34		
観測責任者	@T_BanGDreamer	その他対象者	なし				
発生事象	始発電車観測業務における記録媒体装填失念、およびそれに伴う業務完遂不能	根本原因の解析	環境要因	作業スペースの構造的課題。データの取り込み機器と観測機器の保管場所が分離しており、媒体の「抜き取り」から「再装填」までの動線が遮断されていた。			
具体的な経緯	2025.12.31の観測に際し、前日に実施したデータ転送作業の後、記録媒体(SDカード)を機材本体に再装填することを失念。そのまま確認を怠り、当日現地へ持ち込んだため観測を行うことができなかった。現地にて観測準備を開始した際、記録媒体の未装填が判明。予備媒体の有無を含め確認したが出発時間間に間に合わず、観測を断念した。		手順要因	標準作業手順書(Standard Operating Procedure: SOP)における確認工程の欠如。出発直前の機材チェックリストが運用されておらず、観測責任者の記憶に依存した準備体制となっていた。			
発生日時	2025.12.31 05:58		心理的要因	正常性バイアスによる確認の形骸化。繰り返し行われている手順において、「今回も装着されているはずだ」という予断が生じ、実物確認を怠る心理状態に陥っていた。			
発生地点（※1）	(35.9006, 137.9879, 674.5)	具体的な是正措置	環境面	「物理的な管理手法の改善」。機材ケース内の媒体収納部を視認性の高いものに変更し、未装着時に一目で欠落が判明する「定置管理」を徹底する。			
影響範囲・損害状況	影響範囲: 当該始発電車における定点観測データの欠落。 損害状況: 観測機会の損失、および分析スケジュールの遅延。		手順面	「多重確認プロセスの標準化」。出発前点検において、機材電源を投入し、メニュー画面上で「記録可能残量」または「媒体認識」を確認する動作を必須工程とする。			
事故後の初動対応	専属アシスタントに報告・相談の上、予備媒体の保管候補地や代替可能な観測・記録手法を迅速に検索・整理した上で、現地での搜索を実施した。		心理面	「安全意識の啓発と指差喚呼の実施」。定型作業における過信を防ぐため、「SDカードヨシ」といった指差喚呼を導入し、意識を強制的に作業へ集中させる。			
再発防止対策	チェックリストの導入と予備資材の分散管理を行う。機材ケース上の「SDカード抜き取り中」タグの配備・運用と、車両・カバン・機材ケースそれぞれへの予備媒体の分散配備を実施する。 また、観測機器の設定を「カードなし時の操作禁止」へ変更し、物理的に未装填状態での観測を不可とする。	反省点	「昨日もやったから大丈夫だろう」といった予断(思い込み)が生じた結果、大切な観測データの収集に失敗してしまった。やり直しの効かない一過性の事象であることの重要性を再認識し、深く反省している。				
		再発防止対策の確認・検証方法	出発前にチェックリストを記入し、専属アシスタントに提出・確認を相互で実施することをルール化する。「報告」という外部へのアウトプットを課すこと、チェックの形骸化を防ぐ。				

※1 日時フォーマットは、yyyy.mm.dd HH:MMとする

※2 発生地点のフォーマットは、(Latitude, Longitude, Altitude[m])とする